



カセイ人として、地球のためにできることを。

環 境 報 告 書 2018

Environmental report

目 次

ご挨拶	2
レスポンシブル・ケア基本方針	3
活動及び活動組織図	4
ISO 14001活動状況	5
2018年度環境保全に関する重点目標	6
環境、安全、健康を守る取り組み	
環境保全	7
1. 二酸化炭素排出量の削減及び省エネルギーへの取り組み	8
2. 大気汚染防止への取り組み	8
3. 水質汚濁防止への取り組み	9
4. 産業廃棄物排出量削減への取り組み	10
5. PRTR制度	10
製品安全	11
物流安全	11
物流の効率化	11
保安・防災	11
労働安全衛生	12
環境への取り組み	13
地域社会とのコミュニケーション	13
自然と人に優しい製品群	14

■対象期間：2017年4月1日～2018年3月31日

■対象範囲：四国化成工業（株）の全事業所

四国化成工業（株）の連結決算対象子会社（国内10社、海外1社）

会社概要（2018年3月末現在）

商 号	四国化成工業株式会社
設 立	1947(昭和22)年10月10日
資 本 金	68億6,770万円
従業員数	642名(単体) 1,131名(連結)
売 上 高	458億28百万円(単体) 507億91百万円(連結)
事 業 所	本 社／香川県丸亀市土器町東8丁目537番地1 支 社／幕張、大阪 営 業 所／東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、岡山、四国、神奈川、北関東、静岡 ロサンゼルス(アメリカ)、上海(中国)、深圳(中国)、台湾、 シンガポール、ロンドン(イギリス) R & Dセンター／宇多津(香川) 工 場／丸亀、多度津、高瀬(以上香川県)、北島、吉成、鳴門(以上徳島県) 嵐山(埼玉)、大分(大分)
連結決算対象子会社(国内10社、海外1社)	シコク景材(株)、シコク景材関東(株)、シコク興産(株)、シコク・システム工房(株) シコク・フーズ商事(株)、シコク・フーズ保険サービス(株) シコク分析センター(株)、シコク環境ビジネス(株)、日本硫炭工業(株)、日本工機(株) SHIKOKU INTERNATIONAL CORPORATION(アメリカ)

主要な事業内容と製品

■化学品事業

- ・無機化成品 : 二硫化炭素、不溶性硫黄、無水芒硝
- ・有機化成品 : イソシアヌル酸誘導体(ネオクロール) 排水処理剤(ハイポルカ)
- ・ファインケミカル : プリント配線板向け薬剤(タフエースなど)、イミダゾール類

■建材事業

- ・壁材 : 内装材(けいそう壁、自然素材壁)、外装壁材、舗装材
- ・エクステリア : 門扉、フェンス、車庫、シャッター

■その他事業

情報システム、ファストフード販売などのサービス事業

ご挨拶

地球温暖化をはじめとする環境問題に対し、企業経営においても「循環型社会の実現や持続的な環境負荷の削減」に向けた具体的な取り組みが重要となっています。

化学品と建材を主力事業とする当社は、プール用殺菌・消毒剤、シックハウス症候群に対応した内装壁材など“暮らしの中の環境”をテーマにした開発にいち早く取り組んでまいりました。海洋生物の生態系を保護するバラスト水殺菌処理薬剤や微生物・酵素技術を駆使した排水処理剤、ヒートアイランド現象の抑制に貢献できる舗装材や屋上・壁面緑化商品、化学物質を一切使用していない自然素材100%の内装壁材など、地球環境への負荷軽減に関係する製品をお届けしています。

また、当社は「地球環境の保護に配慮し、自然との調和を第一に考える、心豊かな社会に貢献する企業市民を目指す」ことをレスポンシブル・ケア基本方針中に理念として掲げ、製品の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至るまで、「環境・安全・健康」に配慮した自主管理活動を展開してまいりました。ISO 14001の認証を取得している丸亀・徳島両工場では、構築した環境保全活動のシステムをより効果的に運用できるよう、継続的に改善してまいります。

この環境報告書は、当社の環境保全に対する取り組みや、環境と人に優しい製品をご理解いただき、あわせて社会との積極的なコミュニケーションを図ることにより環境対策のレベルアップにつなげることを目的としております。

当社は、今後とも環境との調和を図り、持続可能な循環型社会の形成に貢献できる企業を目指してまいります。ご一読いただき、皆さまからのご意見・ご感想をいただければ幸いに存じます。

2018年8月

代表取締役社長 兼 C.E.O.

田 中 直 人

レスポンシブル・ケア基本方針



理 念

地球環境の保護に配慮し、自然との調和を第一に考える、心豊かな社会に貢献する企業市民を目指します。



基本方針

- ① 安全確保と省資源・省エネルギー・産業廃棄物削減等の推進による環境保護は、企業の義務と考え行動する。
- ② 自然と人に優しい製品を提供する。
- ③ 環境保全及び従業員と市民の安全・健康確保に努め、地域との調和を図る。
- ④ 製品の全ライフサイクルにおける安全・環境への配慮に努め、負荷を軽減する。
- ⑤ RC活動推進マニュアルに従って活動し、環境負荷の継続的改善を図る。
- ⑥ 製品の安全・環境情報の提供を行う。
- ⑦ 国内外における法規制を順守し、より積極的な環境保護措置を講じる。
- ⑧ 丸亀工場及び徳島工場において、環境マネジメントに関する国際規格ISO 14001の積極的な運用を図る。

四国化成工業株式会社

レスポンシブル・ケア推進委員会

委員長 代表取締役社長 兼 C.E.O. 田中 直人

レスポンシブル・ケア (RC) とは

化学物質等を製造または取り扱う事業者が、製品の開発、製造、物流、使用、最終消費、廃棄の全ライフサイクルにわたって環境、安全、健康を守る自主管理活動のことです。



活動及び活動組織図

環境、安全、健康を守る自主管理活動であるRCは7つの活動から構成されています。



① 環境保全

環境を保護して人々の安全と健康を守る。

② 製品安全

製品を安全に使っていただき、環境への影響を低減するため情報発信する。

③ 物流安全

輸送中の万一の事故に備える。

④ 物流の効率化

効率的な輸送で二酸化炭素の排出を抑制する。

⑤ 保安・防災

災害の未然防止と災害発生時の拡大を防止する。

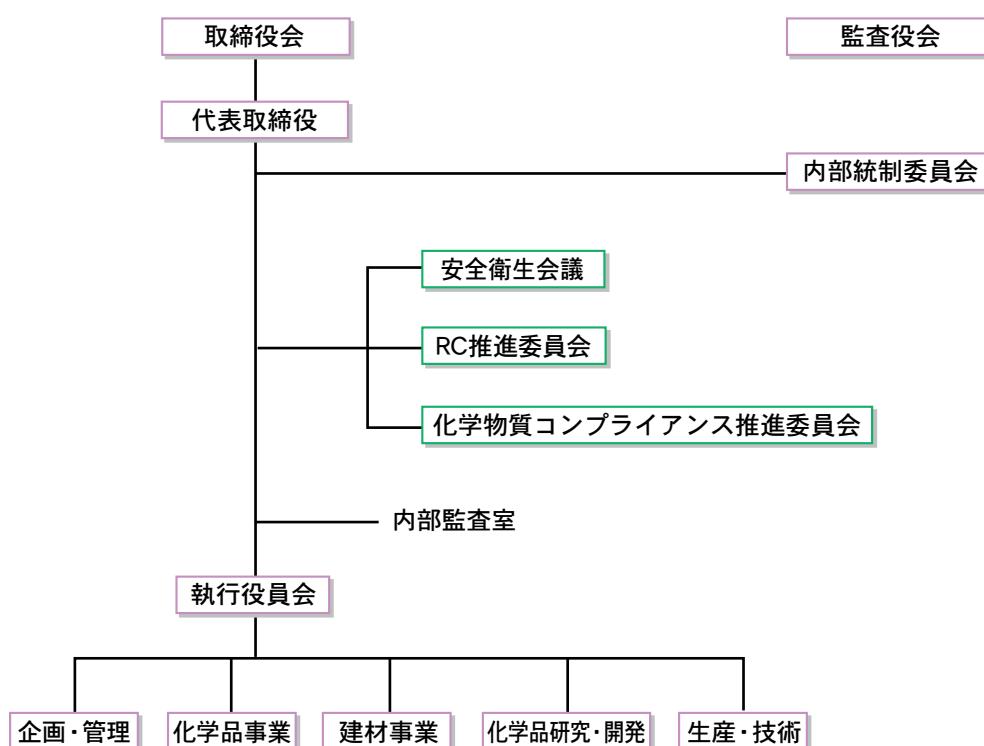
⑥ 労働安全衛生

事故を防止し働く人の安全を確保する。

⑦ 地域社会とのコミュニケーション

地域や住民の皆様との調和を図る。

活動組織図





ISO 14001活動状況

2002年度に丸亀工場、徳島工場（北島事業所）で環境保全に関する国際規格ISO14001の認証を取得し、従業員全員参加による環境保全活動を展開しています。

丸亀工場 ISO 14001 認証書



徳島工場(北島事業所) ISO 14001 認証書



PDCAサイクルに基づく継続的な改善活動

各生産事業所、非生産事業所は、「環境保全に関する重点目標」を達成するため、年度計画を策定し、継続的な改善活動を展開しています。

活動の成果は経営者によって評価され、必要な是正措置を実施して次年度の計画に反映され、活動のレベルアップを図っています。

Act
年度計画の結果報告と是正処置

Plan
年度目標と計画の策定



Check
年度計画の進捗評価と内部監査

Do
年度計画に沿って実行

2018年度 環境保全に関する重点目標



I. 温室効果ガス排出量削減及び省エネルギーの推進

当社の温室効果ガス(二酸化炭素)排出量は、2017年度の実績は41千トンで2016年度の44千トンに比べ6%減少した。不溶性硫黄、ネオクロールの増産による原単位改善と、電力排出係数の低下が主な要因であった。

政府は、国連気候変動枠組み条約第21回締約国会議(COP21)で温室効果ガスの削減目標を「2030年までに2013年比26%削減」と表明しており、この内、発電所や企業の活動などで排出する二酸化炭素は、21.9%の削減となっている。本目標を達成するためには、原子力発電所の再稼動や再生可能エネルギーの導入など、エネルギー政策に依存するところが大きいが、当社も引き続き省エネルギーを推進し地球温暖化対策に協力しなければならない。

- ① 各生産事業所は使用エネルギーの対前年度比1%（原油換算生産原単位）以上の削減を目標とする。
 - 全員参加型の改善活動を推進し、生産効率の向上、ロスの削減、機器性能改善を行い、更に廃熱・冷却水の再利用、熱利用設備や空調機器・冷凍冷蔵機器の定期点検で、省エネルギーを達成する。
 - 充電が必要な機器は夜間電力の利用を推進し、電力の平準化を図る。
- ② 各非生産事業所は電力使用量の対前年度比1%以上の削減を目標とする。
 - クールビズ、ウォームビズの徹底で省エネ設定温度（夏季28℃以上、冬季20℃以下）の順守、空調機器の定期的な点検と高効率機器への更新、LED照明器具の導入により、省エネルギーを推進する。
- ③ 物流購買部門は、製品輸送効率の向上に努め、輸送に関わる二酸化炭素の排出量原単位を前年度比1%以上削減する。
- ④ 営業車へのエコカー導入により省エネを図るとともに、カタログ等の積載量を適正化して省エネ運転に努める。



II. 産業廃棄物減量化の推進

- ① 各生産事業所は社外処理産業廃棄物対前年度（生産原単位）以下を目標とする。
 - 設備の運転トラブルや品質不適合による廃棄物の発生ゼロを目指す。
 - 原材料の仕様と包装形態及び廃棄物の性状と管理等を見直し、廃棄物発生量の削減及び再利用・再使用を推進する。
 - 電子掲示板、電子メールの積極的な利用やタブレットの導入検討で真のペーパーレス化を目指す。



III. 有害化学物質の生産事業所外への排出削減の推進

- ① 環境関連法を順守し、PRTR指定有害化学物質の排出に対して、各生産事業所は削減計画を策定し実施する。
- ② COD、BOD、窒素等の水系への排出に関与する生産事業所は排出量を削減する。



IV. 安全操業の推進

各生産事業所は設備の維持管理及び保安防災に努め、安定した安全操業を推進する。



V. 環境保全活動への積極的な参加と協力

- ① 地域の環境保全活動に積極的に参加する。
- ② 取引先と連携して環境保全活動を推進する。



VI. 環境管理システムの運用

各生産事業所は、ISO 14001の積極的な活用を図り、環境への様々な負荷を抑制する。

環境、安全、健康を守る取り組み

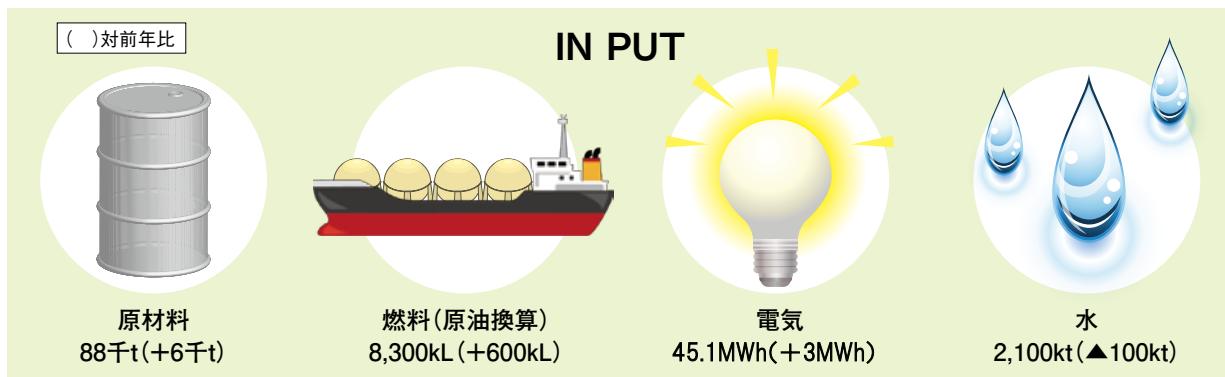


環境保全

当社は、各事業所から排出される温室効果ガス、化学物質及び産業廃棄物が環境に与える負荷を継続的に低減させることにより、環境保護及び地域住民の皆様と従業員の安全・健康の確保に貢献することを目指しています。

環境負荷の全体像 (生産活動に伴う環境負荷を把握しています。)

2017年度の生産事業所のマテリアルバランス



丸亀工場・徳島工場



IN PUT

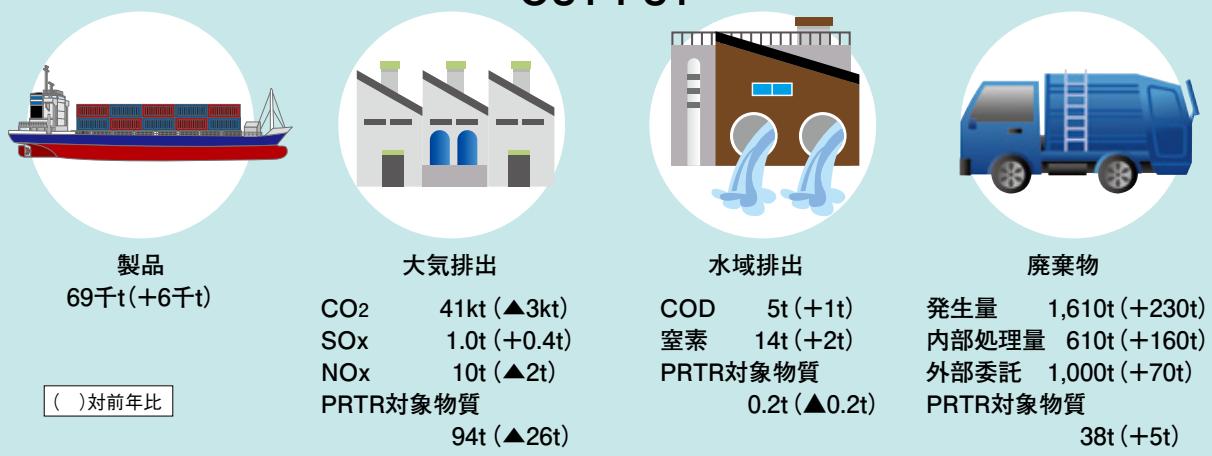
製品を造るために投入した原材料や、エネルギー、水

OUT PUT

事業活動によって造られた製品や、大気・水域への排出物、廃棄物

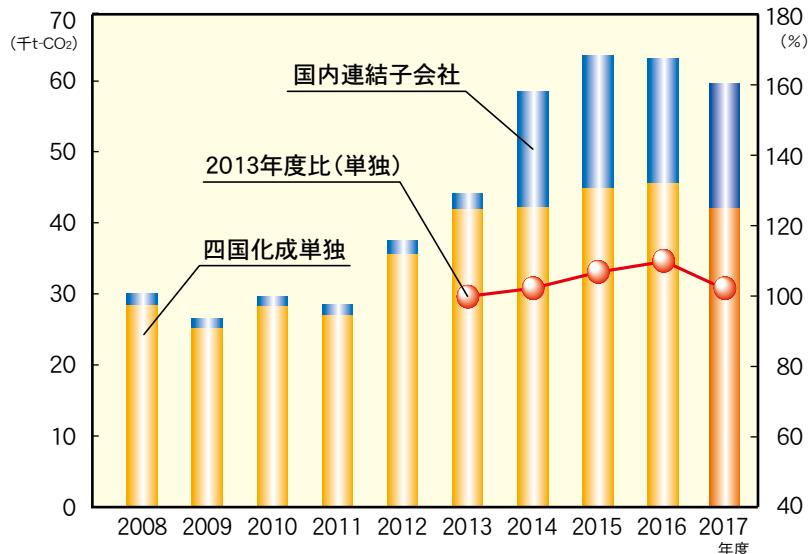


OUT PUT



1. 二酸化炭素排出量の削減及び省エネルギーへの取り組み

■二酸化炭素排出量の推移



当社（生産・非生産事業所）の2017年度の二酸化炭素排出量^(※1)は、43千t-CO₂で前年度と比べると不溶性硫黄、ネオクロール、イミダゾールの増産により、エネルギー使用量は増加したが、排出係数が21%低下し、二酸化炭素排出量は6%の減少、2013年度比では2%の増加となりました。

国内連結子会社に2014年度から日本硫炭工業、2017年度から日本工機が加わりました。

※1：電力については電気事業者別調整後
排出係数を使用

■エネルギー使用量(原単位)の推移



当社（化学品3工場）では、目標を決めエネルギーの削減に努めています。2017年度の原油換算のエネルギー使用量は、不溶性硫黄、ネオクロール、イミダゾールの増産により20千kLと前年度に比べ8%増加となりましたが、生産増の影響と排出係数の低下により、原単位は、前年度に比べ1.2%低下しました。

2. 大気汚染防止への取り組み

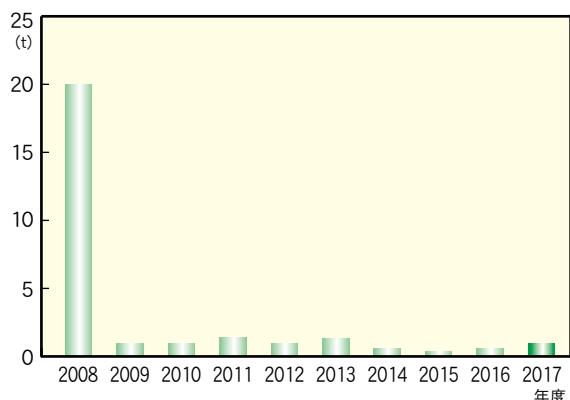
当社では、都市ガスや硫黄含有量の少ないA重油への燃料の転換、排ガス処理施設の導入など大気汚染物質の削減に取り組んできました。

◆揮発性有機化合物（VOC）処理施設 (徳島工場北島事業所)

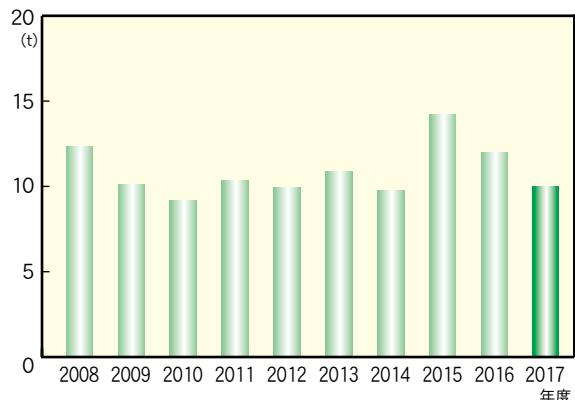


▲2010年3月、乾燥工程で発生するVOCを燃焼して無害化する直接燃焼式排ガス焼却炉を設置しました。

■SOx排出量の推移（化学品3工場合計）



■NOx排出量の推移（化学品3工場合計）



SOx : 硫黄酸化物で酸性雨やぜんそくの原因質

NOx : 窒素酸化物で光化学オキシダントの原因物質

VOC: Volatile Organic Compounds

揮発性有機化合物で光化学オキシダントの
原因物質

※化学品3工場：丸亀工場、徳島（北島、吉成事業所）の
ことをいう。

3. 水質汚濁防止への取り組み

丸亀工場では地下水への依存度を減らすため工業用水を導入して水の循環再利用をしています。徳島工場(北島事業所)では活性汚泥排水処理施設で有機物や窒素化合物を含む排水を処理しCOD^(※2)、燐、窒素化合物の排出量を自動連続監視しています。

※2 COD: Chemical Oxygen Demand

水中の汚濁物質（主に有機物）を酸化剤で
化学的に分解する場合に必要となる酸素量

◆冷却水の循環再利用設備
(丸亀工場)



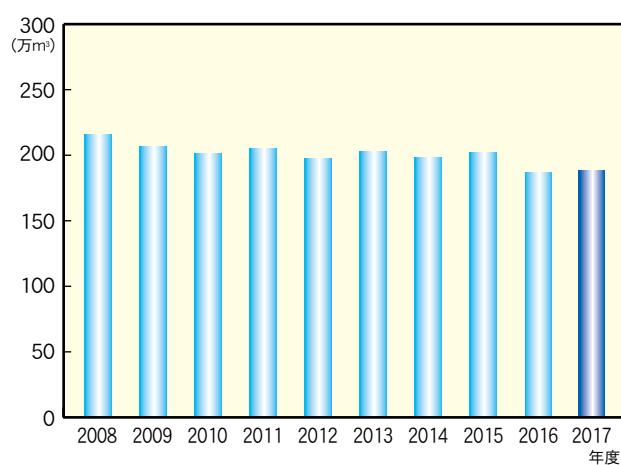
▲工程で使用した水を処理し
再利用する設備です。

◆活性汚泥排水処理施設
(徳島工場北島事業所)

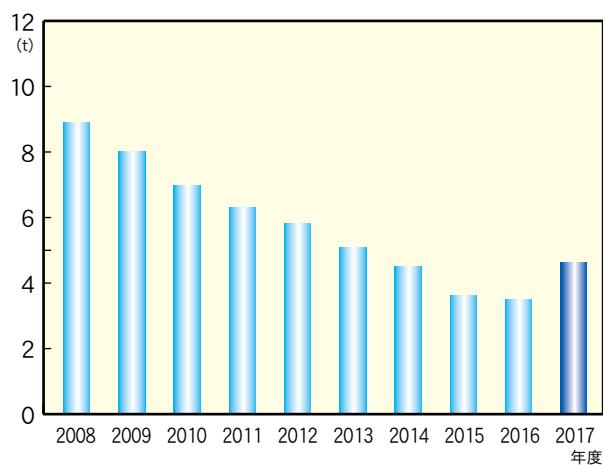


▲有機物、窒素化合物等を含む
排水を当社の水処理技術も
を利用して浄化処理しています。

■排水量の推移（化学品3工場合計）



■COD排出量の推移（化学品3工場合計）



4. 産業廃棄物排出量削減への取り組み

■産業廃棄物量の原単位の推移(化学品3工場合計)



◆「通い箱」と箱に詰める浄化槽用殺菌・消毒剤「ポンシロール」



当社(化学品3工場)では事業活動に伴う廃棄物を全て産業廃棄物として定義しています。各事業所では目標を決めて発生量や排出量の削減に努めました。不溶性硫黄、ネオクロール、イミダゾールの増産により2017年度の化学品3工場の産業廃棄物発生量合計は、1,000tと前年度に比べ5.5%増加となりましたが、原単位は前年度に比べ3.8%減少しました。

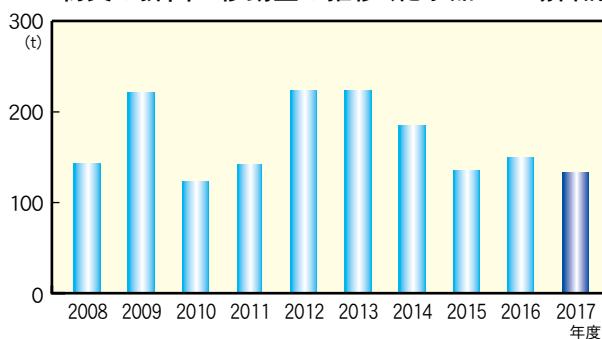
◆タイヤ工場と丸亀工場を往復し繰り返し使用されるフレコンバッグ



5. PRTR制度

PRTR制度 対象物質	物 質		2017年度排出・移動量				
	26物質	丸亀工場 徳島工場(北島事業所) 徳島工場(吉成事業所)	4物質 21物質 1物質	大気	公共用海域	下水道	産業廃棄物
	94 t	0.2 t	—	38 t			
* 排出・移動量上位3物質：二硫化炭素、トルエン、キシレンで全排出・移動量の86%を占めています。							

■PRTR物質の排出・移動量の推移(化学品3工場合計)



◆排ガス洗浄処理施設(徳島工場北島事業所)



▲塩素化イソシアヌル酸製造工程で発生する塩素を集合させ洗浄処理する設備です。

人の健康や生態系に有害なおそれがある化学物質について、環境中への排出量及び廃棄物に含まれた移動量を事業者が自ら把握して自主的に管理することを定めているのがPRTR制度です。

◆二硫化炭素回収装置(丸亀工場)

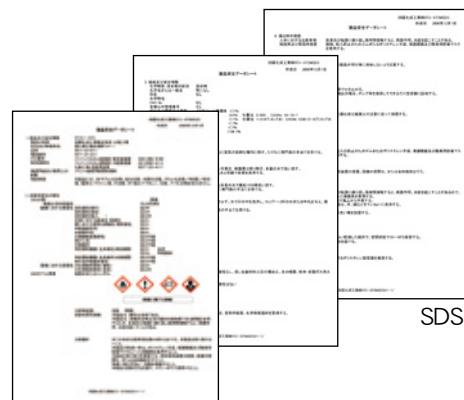


▲不溶性硫黄製造工程で使用する二硫化炭素を回収する装置です。

製品安全

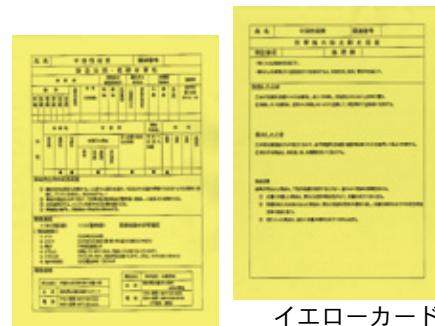
当社の化学製品をお客様に安全に取り扱っていただくために、国連勧告のGHS^(※3)ガイドラインに基づいた各國の規制への対応を行い、すべての化学製品についてSDS(安全データシート)を作成し、危険有害性情報、応急措置、火災・漏出時の措置、取り扱い・保管上の注意、物理・化学的性質、環境影響情報、有害性情報、廃棄・輸送上の注意、適用法令等の情報をよりわかりやすく提供しています。また、調達を行っているお取引先様に対して、環境管理状況や規制対象物質の調査を定期的に行っており、お客様への情報提供を迅速に行っております。

※3 GHS：化学品の分類及び表示に関する世界調和システム



物流安全

当社では、輸送時の万一の事故に備え、輸送業者、警察、消防等の事故処理に関する人々が安全に処置できる内容を記載した緊急連絡カード「イエローカード」を発行しています。毎年、輸送業者に対し、輸送時には必ず携帯することを含め万一の事故に備えた教育訓練を実施しています。このカードには、物質名、その性質、応急処置方法、緊急時の連絡先等が記載されています。

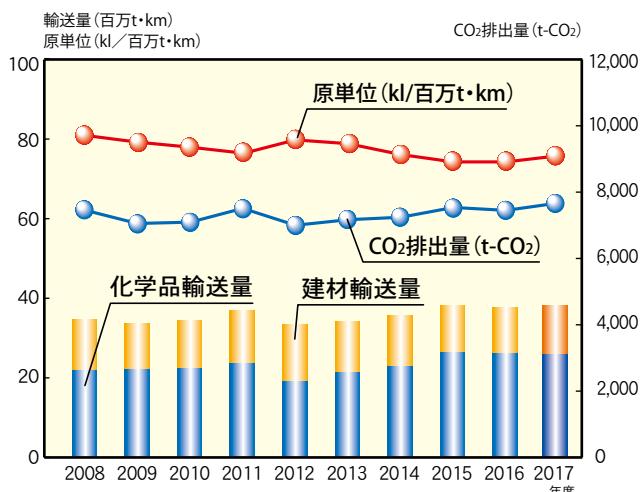


イエローカード

物流の効率化

製品の輸送については、輸入製品の荷揚げ港を販売先の地域分布に合わせて選定した国内のトラック輸送距離の短縮、国内幹線輸送におけるフェリーや鉄道利用の促進、積載効率を高めるためのストックポイントの変更やチャーター便と路線便の適切な選定等を実施しています。

■ 製品輸送のエネルギー原単位



※4 BCP (Business Continuity Plan)

災害や事故などの不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたもの。

保安・防災

保安防災についての定期的な教育訓練や万一の事故に備えた総合防災訓練の実施に積極的に取り組んでいます。

また、近い将来発生が懸念されている「南海トラフ大地震」に備えて、従業員の安全確保や事業活動の早期再開に向けてBCP^(※4)を策定しています。

◆丸亀工場総合防災訓練



◆徳島工場総合防災訓練



◆耐震補強を行った丸亀工場製造建屋





労働安全衛生

各事業所では毎年「安全衛生活動計画」を策定し、事故の未然防止に努めています。

各事業所で策定した「安全衛生活動計画」のもと、定期的に労使合同の安全衛生委員会を開催し、計画を推進しています。本活動を通して事故の未然防止や職場環境の改善に取り組んでいます。

◆各工場の無事故・無災害記録



丸亀工場



徳島工場（北島事業所）



徳島工場（吉成事業所）

◆生産・技術 安全衛生大会の開催

丸亀、徳島工場では、安全衛生大会を開催しています。トップによる安全への思いの表明、危険予知活動の発表による交流、優れた安全衛生活動の表彰などを行うことで、「安全は全てに優先する」という文化を定着させ、地域社会から信頼される工場となることを目指しています。



安全表彰



薬品分解体感（過酸化水素分解）



指差呼称訓練

◆安全教育

（体感教育、危険予知訓練）

安全活動では、重大な労働災害の発生を防止するため、リスク評価やヒヤリ・ハット及びキガカリの摘出活動、危険予知活動を中心に展開するとともに、教育訓練では機械への巻き込まれや燃焼・爆発など工場の危険を肌で感じる体感安全教育、作業に潜む危険を抽出する危険予知訓練など一人ひとりの危険感受性を高め、事故防止に努めています。



メンタルヘルス講習会

◆衛生教育

衛生活動では、心身両面の疲労や体調不良による労働災害を防止するため、メンタルヘルス講習、定期健康診断やカウンセリング、ストレスチェックを通じ、従業員の健康管理に努めています。またハラスマントに関する教育を実施し、基本的な人権を尊重し、より良い職場環境づくりを進めています。

環境への取り組み

I S O 14001・エコアクション21認証取得

当社グループ会社であるシコク環境ビジネスでは、2018年5月に「エコアクション21」の認証を獲得しました。「エコアクション21」とは、環境省が策定した中小企業向けの環境マネジメントシステムで、省エネを中心に節水や廃棄物削減などに取り組むものです。同社では、環境負荷軽減活動と社員の環境教育を目的に、ゴミの分別や節電、ペーパーレスの推進などに取り組みました。また、取得企業として、環境省から取材依頼や、香川県から取組事例発表の依頼なども受けております。今後もこれまで以上に活動を推進していきます。



地域社会とのコミュニケーション

当社の事業活動について理解していただくために、会社案内、事業所案内の発行、Webサイトの充実等様々な方法で情報を提供し、地域社会とのコミュニケーションを図っています。

さらに、地域のボランティア活動への参加や事業所周辺の自主的清掃活動も積極的に行ってています。



地域清掃活動

自然と人に優しい製品群

四国化成では、企業として環境保全に対して積極的な取り組みを続けているほか、製品開発の面からも地球環境・生活環境や健康、安全に貢献する製品群をお届けしています。

ネオクロール



当社独自の技術で生産される高品質の塩素化イソシアヌル酸系の清澄・消毒剤で、水泳プールの消毒、浄化槽放流水の消毒をはじめ、ホームサニタリー製品などにも幅広く使われており、あらゆる水の衛生管理を通じて健康で安全な暮らしに貢献しています。

スパクリーン



公衆浴場などの入浴施設では、浴槽水を常に清潔に保つことが必要です。一見きれいに見えるお湯もゴミを取り除くだけの循環使用では、レジオネラ菌などの細菌類を除去できません。スパクリーンは、塩素化イソシアヌル酸系の風呂水専用塩素剤です。強力な活性塩素の作用で風呂水を常に衛生的に保ち、安心して入浴できる環境を作ります。また、アルカリ温泉用としてスパクリーン・プロム60Tや、社会福祉施設等の中・小規模浴場用としてレジオハンターミニタブレットも提供しています。

ネオクロールマリーン



船舶がバランスを保つために積み込む水であるバラスト水は、荷物を降ろす港で注水され、荷物を積む港で排出されます。バラスト水に含まれる生物の排出に伴う環境への被害を防止するため、2017年9月に船舶に対してバラスト水の適切な管理を求める国際条約が発効されました。「ネオクロールマリーン」は、バラスト水の殺菌処理薬剤として生態系の保護に貢献しています。

タフエース

(プリント配線板用水溶性防錆剤)



パソコンやスマートフォンなどの電子機器に使用されているプリント配線板は、地球環境保護の観点から、無鉛はんだを用いた部品の高密度表面実装が主流となっています。タフエースは、はんだ付けが難しい無鉛はんだでも顧客が要求する良好なはんだ付け性を提供できる耐熱型水溶性防錆剤です。また、タフエースは有機溶剤を含まないため、人と地球に優しい作業環境を提供します。

オーディライト

(余剰汚泥低減化剤)



活性汚泥法による排水処理において発生する余剰汚泥を減少させるシステムです。溶解器と専用薬剤のみから成る簡便なシステムで、高額な初期投資を必要とせず、農業集落排水や食品工場等の排水処理施設に後付けもできます。また、環境省の環境技術実証制度「環境技術実証事業」平成23年度対象技術に選ばれ、第三者機関による客観的な実証試験が実施され、性能が承認されました。



グリーンシェード



ヒートアイランド現象の対応策としての屋上緑化導入が広がっています。当社の空中緑化システム「グリーンシェード」は、内部に雨水貯水槽をもつプランターの上に二重構造のメッシュパネルを取り付け、つる性植物を這わせて緑の影を作ります。プランタータイプなので、大掛かりな改修工事が不要で、雨水利用で水やりが軽減できるなど、これまでの屋上緑化商品にみられた課題も解決し、壁面緑化へも展開しています。この商品は二酸化炭素の削減にも役立ちます。

けいそう壁シリーズ



珪藻土を主成分とした壁材で、優れた調湿性、断熱効果、吸音性を発揮します。有害なホルムアルデヒドを吸着して無害な物質に分解する、人に優しい内装材です。石膏ボードに直塗り可能な商品では炭素繊維を配合することで中塗り工程を不要とし、省資源にも貢献しています。ビニルクロスの壁紙を剥がさず、上から塗り替え可能なリフォーム材もあります。

SATORI(米国における壁材ブランド)はIndoor Advantage™ Goldを取得しています。

—Indoor Advantage™ Goldとは—

製品の安全性を証明する米国の規格で、第三者認証機関の審査に基づき認証されます。認証された製品を使用している建物は、室内の空気環境がよいということで、「LEED認証」に必要なポイントが加算され、ポイント合計によってグリーンビルディングとして認定されます。

—LEED (Leadership in Energy and Environmental Design) とは—

米国の建築業界を中心とする民間企業によって組織・運営される「米国グリーンビルディング評議会 (U.S. Green Building Council)」が制定・推進するプログラムのひとつです。建築物が環境改善にどのように貢献しているかを、設計のコンセプトや使用されている資材など、様々な視点から評価する制度です。

自然素材壁 ナチュラックス



樹脂などの化学物質を一切使用していない自然素材100%の内装壁材です。一般的に使われている合成樹脂エマルションに代わり、昆布抽出物を使用して土や砂を固めています。その他の原材料も全て天然由来のものや天然物から抽出した食品添加物を使用しています。塗り壁ならではの調湿機能も備えており、環境にも人にも優しい内装材です。

リンクストーンG

(エコマーク認定商品:認定番号08 131 008号)



「リンクストーンG」は、空き瓶などの廃ガラス材を利用した環境に優しいリサイクル舗装材です。耐候性が高く、透水性に優れているため水たまりができにくく安全です。また、適度な凹凸があるため歩きやすいといった特長をもつ、エコマーク認定商品です。

アートウォール



「アートウォール」は、アルミフレームと化粧材を組み合わせた外壁です。軽量な本体構造で、十分な美観を備えながらも、重量は一般的な軽量コンクリートブロック壁の約20分の1^{*}という特徴を持ち、万が一の倒壊時にも人身事故を最小限に留められる設計です。一般社団法人文教施設協会の「学校施設優良部品推奨品」の指定及び国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）の登録を取得している安全性に優れた製品です。



登録番号:EX100113

※アートウォールseed塗装仕上げの場合、その重量は12kg/m²です。それに対し、コンクリートブロック壁の重量は250kg/m² (15cmブロック) であり、約20分の1の重量です。



四国化成工業株式会社

〒763-8504 香川県丸亀市土器町東8丁目537番地1
Tel. 0877-22-4111(代)
URL. <http://www.shikoku.co.jp/>

発行日：2018年8月（次回：2019年8月発行予定、前回：2017年8月）